

2025 年 7 月 15 日

各 位

上 場 会 社 名 タケダ機械株式会社
代 表 者 代表取締役社長 竹田 雄一
(コード番号 6150)
問 合 せ 先 常務取締役管理部長 鈴木 修平
(T E L 0761-58-8231)

2025年5月期の連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2024年7月16日に公表しました2025年5月期の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025 年 5 月期の連結業績予想と実績値との差異（2024 年 6 月 1 日～2025 年 5 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 5,500	百万円 560	百万円 600	百万円 390	円 銭 424.20
実績値（B）	4,890	431	441	293	319.43
増減額（B－A）	△609	△128	△158	△96	
増減率（％）	△11.1	△22.9	△26.4	△24.7	
（ご参考）前期実績 （2024 年 5 月期）	5,464	636	659	427	464.51

2. 差異の理由

2025年5月期の業績は、主な要因として形鋼加工機の売上高が想定より落ち込んだ影響により、売上高、利益ともに予想数値を下回る結果となりました。これは事業環境として、引き続き都市部を中心とした鋼構造物、国土強靱化基本計画によるインフラ補強、物流倉庫・データセンターなどの内需を見込んでおりましたが、鋼材価格や人件費等の上昇、人手不足による建設計画の見直し、工期の遅延から建設需要が高まらず、市場に停滞感が見受けられ、不透明な景況感も相俟って設備投資が抑制されたことによるものです。

このほか、仕入価格等の高止まりや物価の上昇に伴う様々なコストの上昇は利益面に影響を与えておりますが、翌期に向けた納入案件によって操業が一定程度維持され、利益の減少を抑制しております。

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上